

2024年4月1日

イノアックグループ コンプライアンス本部

コンプライアンスポリシー

イノアックグループは、コンプライアンス・倫理プログラム及びコンプライアンス管理規程に基づき、国内外の当社グループのビジネス活動は、倫理的及び合法的な手段によって行うことを定めている。

当本部は、この倫理的及び合法的なビジネス活動を推進するため、当社グループが国内外において遵守しなければならない事項について、下記のとおり宣言する。国内外の当社グループは、このポリシーをよく理解し、これに従ってビジネス活動に従事しなければならない。

1. 人事及び労務等

(1) 差別の禁止

国籍、性別、年齢、信条、宗教、人種、民族、性的指向、障がい、配偶者や子の有無などに基づく、いかなる不当な差別を許容しない。当社グループにかかわるすべての人の個性を尊重し、積極的に受容する。

(2) 児童就労の禁止

工場を含む、すべての当社グループ事業において児童就労を禁止し、これを許さない。

(3) 奴隷、強制労働の禁止

いかなる形式であっても、当社グループ事業に携わる従業員はすべからく本人との合意に基づくものであり、本人の意に反した就労を強制しない。

(4) ハラスメントの禁止

パワーハラスメント（パワハラ）、セクシャルハラスメント（セクハラ）及び妊娠・出産・育児休業・介護休業等に関するハラスメントを含む、いかなるハラスメントも許容しない。

(5) 情報漏洩の防止

当社グループ事業に携わる従業員の人事情報を適切に管理し、退職者及び中途採用者が違法な営業秘密の利用や情報漏洩を行わないよう適切にモニタリングする。

2. 経理、財務、会計等

(1) 横領の禁止

当社グループ業務中の横領は決して許さず、この予防のため、適切な支払い及

び請求プロセスを確立する。

- (2) 納税
関連するすべての税法規を遵守する。
- (3) 適切な会計
適切な会計処理及び決算を行う。
- (4) 情報漏洩の防止
業務上知りうる経理または財務にかかわる機密情報を適切に管理する。
- (5) 書類や印鑑の管理
社内の正式な書類や印鑑を適切に管理、運用する。

3. 品質保証

- (1) データ偽装の禁止
当社グループの製品またはサービスに関連したデータ等の偽装は決して許さない。
- (2) 適切な品質保証、仕様の設定
製品の仕様や品質保証は、すべからく、現実に量産が可能である適切なものとしなければならない。
- (3) 適切な材料等の変更
材料等製品の品質に影響が生じうる変更が生じる場合、顧客の了解を得るなど、プロセスにのっとり対応する。
- (4) 法令遵守
計量法を含む、当社グループの製品の品質やデータにかかわるすべての法令を遵守する。
- (5) 公的認定、認証
国内外の全ての公的認定及び認証機関に対して、誠実に申請、登録及びその維持等の管理を行う。
- (6) 社内外への適切な情報開示
当社グループの製品またはサービスに関連して、顧客や市場等に重大な影響を与えうるリスクが確認された場合、その被害の拡大を防止するために、適切な情報開示を行う。また、重要性に応じてリコール、回収等の対応を迅速に検討し、適切に行政とも対話する。

4. 環境

- (1) 化学物質管理
業務上取り扱う化学物質について、関連する法令、規制、条約等に従って適切に管理する。

- (2) 水質汚染の防止
企業活動による水質汚染を防止すべく、関連する法規を遵守する。
- (3) 土壌汚染の防止
企業活動による土壌汚染を防止すべく、関連する法規を遵守する。
- (4) 大気汚染の防止
企業活動による大気の汚染を防止すべく、関連する法規を遵守する。
- (5) 振動、騒音の防止
企業活動による振動、騒音を最大限抑止すべく、関連する法規を遵守する。
- (6) 廃棄物管理
企業活動によって生じるすべての廃棄物について、関連する法規にのっとり、適切に管理、処分する。

5. 安全

- (1) 労働災害の防止
「労災ゼロ」を目指す。すべての事業所における労働災害を撲滅すべく、現場の改善、予防策の実施に取り組む。
- (2) 事故対応
火災、水害、原料漏洩等の何らかの事故が生じることに備えた事業所づくりを行い、実際に生じた場合には、被害の拡大防止に取り組むべく、事前の体制を整える。
- (3) 労働環境、職場衛生
熱中症、騒音、臭気、照明等、すべての従業員が適切に業務遂行できるよう健全な職場環境を整備する。
- (4) 自然災害
台風、洪水、ゲリラ豪雨、土砂崩れ、地震、雪害等の災害に備え、常に最大のリスクを想定した減災活動を行う。

6. 調達

- (1) サプライチェーンの適切な管理
サプライヤーや業務委託先等当社グループにかかわるすべての事業者において、人権侵害等の違法または非倫理的な活動が行われないよう、適切な管理・監督を行う。
- (2) 健全な関係構築
サプライヤーや業務委託先等より、当社グループの取引上の優位性を不当に利用して、キックバックや過剰な接待などを受けてはならず、また、この勧誘も行ってはならない。

- (3) 情報管理
サプライヤー等への適切な情報開示及び開示された情報の適切な管理・監督を行う。
- (4) 紛争鉱物、禁止物質の管理
紛争鉱物を当社グループ製品に関与させない。また、イノアックグリーン調達に基づいた適切な化学物質の使用を徹底する。

7. 営業活動

- (1) 公正な競争
国内外の関連する競争法を遵守し、特に、競業他社との接触は、原則として禁止され、当社グループのルールに基づいて実施されなければならない。
- (2) 腐敗防止
国内外の関連する公務員等への贈答物、旅行及び接待等は、原則として禁止され、当社グループのルールに基づいて実施されなければならない。特に、営業活動に際しては、顧客等への贈答物、旅行及び接待等は各国・地域固有の規制も遵守して行わなければならない。
- (3) 営業秘密流用の防止
退職者及び中途採用者が違法な営業秘密の利用や情報漏洩を行わないよう適切にモニタリングする。
- (4) 適切な表示、広告、景品
景品表示法等関連するすべての法規を遵守した、表示、広告または景品運営を行う。
- (5) 適切な顧客対応
一般消費者も含め、顧客からのお問合せには誠実かつ適切に対応する。

8. 情報管理

- (1) マルウェア感染の防止、体制づくり
ランサムウェアやビジネスメール詐欺といったネットワーク上の脅威を適切に把握し、予防及びインシデント対応まで含めた一貫した体制づくりを行う。
- (2) 社内システム管理
社内の様々な業務システムを適切に管理、維持する。
- (3) 社内外ネットワーク管理
社外と社内ネットワークの適切な管理、モニタリングを実施する。
- (4) 情報管理、データプライバシー
不正なデータ持ち出しが生じない、または、適切なモニタリング・トラッキングが行える体制を整備する。また、個人情報については、関連するすべての法

規を遵守した管理を行う。

- (5) 社外情報管理
当社グループ外にて管理されている当社グループの情報を適切に管理・監督する。
- (6) SaaS 環境の適切な使用
外部業者を介して使用する業務システムを適切に使用し、インシデント発生時の対応マニュアルを整備する。
- (7) ハードウェアの管理
重要な情報を含むハードウェアを適切に管理する。
- (8) データ改ざん防止
社内の重要な情報について、改ざんを防止するための仕組みを整備する。

9. 技術管理

- (1) 技術情報の管理・監督
当社グループが有する技術情報及び知的財産権等について、退職者及び中途採用者が違法な営業秘密の利用や情報漏洩を行わないよう適切にモニタリングする。
- (2) 適切な仕様設定
すべての技術部門は、量産を想定した現実的なスペックにて仕様設定しなければならず、品質保証部門の承認を得なければならない。
- (3) 材料規制管理
製品に使用される材料の選定、検討にあたり、化審法を含む関連するすべての法規制を遵守する。
- (4) 腐敗防止
国内外の公的な研究機関等との積極的な技術革新に取り組むとともに、関連する公務員等への贈答物、旅行及び接待等は、原則として禁止され、当社グループのルールに基づいて実施されなければならない。

10. 輸出入

- (1) 輸出規制への対応
安全保障管理を含む、関連するすべての国・地域における輸出入規制を遵守する。
- (2) 関税対応
関連するすべての国・地域における関税法規制を遵守する。
- (3) 化学物質等への規制遵守
関連部門と連携し、化学物質等への規制を遵守する。

当社グループの役員及び従業員は、各領域を所管するコンプライアンスオフィサーと連携して対応するものとする。

当社グループがますます倫理的及び合法的なビジネス活動を推進していくため、このポリシーを含め、イノアックグループのコンプライアンス方針を適宜見直され、アップデートされる。